

二〇二二年度 茶の湯文化学会 北陸例会 講演会

講師・森本英裕（早稲田大学）

中村昌生設計の茶室『静古庵』発見とその特徴



茶室『静古庵』（1966）

故 中村昌生氏（1927～2018）

富山市内に現存する茶室『静古庵』は、茶室研究で知られた故中村昌生氏が、1966年に棟梁・中村外二とともに手掛けた記念すべき第1作でありながら関係者のなかでもほとんど知られていません。当時の中村昌生氏は、1962年に博士論文「初期茶室の基礎的研究」を京都大学へ提出し、その翌年から1967年にかけて堀口捨己監修の『茶室おこし絵図集』刊行に関わっておりました。こうした背景での『静古庵』を最近年、森本英裕先生が発見して本格的な調査を実施され、地元の富山だけでなく広く学会等でも話題となりました。

そこで森本先生をお迎えし、中村昌生氏の晩年の作品となった「越前古窯博物館・天心堂」にて、この『静古庵』をめぐる講演会を企画しましたので、ぜひご参加ください。



森本 英裕 先生 プロフィール

1982年 富山県生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業、同大学院（修士・博士）修了後、地元富山の職藝学院に勤務（2013～2022）。現在 早稲田大学理工総研嘱託研究員。専門：歴史的建造物や景観の調査研究をベースとした修復修景・再生デザイン。

講演会 プログラム

日時：2022年9月3日（土）14時～16時30分

場所：越前古窯博物館・天心堂（福井県丹生郡越前町小曾原 107-1-169）

定員：25名（参加無料：先着順、以下のメールでの事前申込が必要です）

内容：代表挨拶 14：00～14：10

吉江 勝郎 氏（茶の湯文化学会幹事）

講演会 14：10～15：40

森本 英裕 先生

ディスカッション：15：50～16：30

問合先：福井工業大学建築土木工学科 市川研究室メール hidei@fukui-ut.ac.jp